



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ネクストウェア株式会社 上場取引所 東
コード番号 4814 URL <https://www.nextware.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)豊田 崇克
問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員 経理財務本部長 (氏名)渡邊 博和 (TEL)06-6281-9866
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	513	△11.5	△111	—	△108	—	△104	—
2023年3月期第1四半期	579	△21.9	△47	—	△37	—	△36	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △104百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △36百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△8.20	—
2023年3月期第1四半期	△2.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,653	1,386	83.8
2023年3月期	1,837	1,515	82.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,386百万円 2023年3月期 1,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	3.8	30	—	30	△17.0	20	71.6	1.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	13,015,222株	2023年3月期	13,015,222株
2024年3月期1Q	308,719株	2023年3月期	308,719株
2024年3月期1Q	12,706,503株	2023年3月期1Q	12,706,503株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴い経済社会活動の正常化が進む中で、緩やかに回復しています。一方、先行きにつきましては、緩やかな回復が続くことが期待されますが、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループが所属する情報サービス産業におきましては、競争上の優位性を確立するDX（デジタルトランスフォーメーション）関連の需要が堅調に継続するとともに、クラウドサービスの拡大により情報セキュリティの重要性が高まっております。

当社グループは、ソリューション事業において、急速に変化するデジタル社会に対応すべくAI・RPA・顔認証など新たなソリューションによる新規顧客の開拓を進めました。また、エンターテインメント事業においては、エンターテインメントと当社独自のDXソリューション技術の融合による新しいサービスの創出など、作品のエンターテインメント力・完成度を追求しました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は513百万円（前年同四半期比11.5%減）、営業損失は111百万円（前年同四半期は47百万円の損失）、経常損失は108百万円（前年同四半期は37百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は104百万円（前年同四半期は36百万円の損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ソリューション事業

顔認証を利用した入退室管理システムや不審者検知システム、顔認証付きカードリーダー（マイナンバーカード対応）など弊社独自の顔認証ソリューション群・AI（人工知能）を中心としたスマートビジネス事業の受注は堅調に推移しており、24時間営業の無人店舗に顔認証システムを導入した案件では、セキュリティ管理と共に運営コストの低減及びセルフチェックインによる利便性向上を実現しました。また、昨年11月に販売を開始した万引き防止ソリューションへの問い合わせ、引き合いも増加しております。

防災システムにおいては、異常気象（大規模な台風、局地的な豪雨、線状降水帯、異常高温状況等）により発生した災害による被害情報を県から市町村に情報連携することに注力いたしました。また、船舶の安全な航行を担保する船舶監視システムの整備を進めました。

当第1四半期連結累計期間は、コロナ禍の市況において需要があった顔認証と検温による入退室管理ソリューションの売上が減少し、また、営業活動の拡大や人材の確保、定着を目的として販管費が増加したことなどから、ソリューション事業の売上高は479百万円（前年同四半期比11.5%減）となり、セグメント損失は88百万円（前年同四半期は30百万円の損失）となりました。

② エンターテインメント事業

連結子会社の株式会社OSK日本歌劇団は、経済産業省が公募するJLOX（コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金）に採択されました。本補助金は、コンテンツ自体のデジタル化に関する取組や、コンテンツの展開・配信・収益化に関する取組を支援することで、海外展開や新市場開拓を促すことを目的としています。

また、前年に迎えた創立100周年の歴史を綴った100周年記念誌の販売を6月より開始しました。90周年誌に掲載した資料写真441点から同誌は1,062点へ倍増し、歴史に残る事業として評価いただいております。

OSK出身の笠置シズ子さんをモデルにしたNHK朝ドラ「ブギウギ」の放送決定を機に、文化芸術振興を担う地方自治体から公演に関する問い合わせを頂いております。

当第1四半期連結累計期間は、制作力の向上や新しいファンの獲得を目指して他団体との共催公演の制作や出演依頼に注力し、高採算の自主公演の上演数が一時的に減少したことなどから、エンターテインメント事業の売上高は33百万円（前年同四半期比11.7%減）、セグメント損失は23百万円（前年同四半期は16百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,653百万円となり、前連結会計年度末に比べて184百万円減少しました。これは主として、現金及び預金が60百万円、貯蔵品が25百万円、仕掛品が12百万円それぞれ増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が262百万円、流動資産その他が32百万円それぞれ減少したことによります。

負債合計は267百万円となり、前連結会計年度末に比べて55百万円減少しました。これは主として、流動負債その他が23百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が64百万円減少したことによります。

純資産合計は1,386百万円となり、前連結会計年度末に比べて129百万円減少しました。これは利益剰余金が129百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	639,623	700,266
受取手形、売掛金及び契約資産	518,562	256,371
商品	6,552	16,182
仕掛品	17,712	30,374
貯蔵品	-	25,543
その他	188,601	156,566
流動資産合計	1,371,054	1,185,304
固定資産		
有形固定資産	100,903	100,064
無形固定資産		
のれん	19,891	18,973
その他	24,274	22,949
無形固定資産合計	44,166	41,923
投資その他の資産	321,777	325,950
固定資産合計	466,847	467,938
資産合計	1,837,901	1,653,243
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121,716	57,215
1年内返済予定の長期借入金	15,846	9,937
未払法人税等	10,891	4,978
その他	128,482	152,292
流動負債合計	276,937	224,423
固定負債		
長期借入金	28,550	26,900
退職給付に係る負債	7,673	7,673
資産除去債務	5,510	5,511
その他	3,478	2,561
固定負債合計	45,213	42,646
負債合計	322,150	267,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,310,965	1,310,965
資本剰余金	229,198	229,198
利益剰余金	80,212	△49,364
自己株式	△104,625	△104,625
株主資本合計	1,515,750	1,386,173
純資産合計	1,515,750	1,386,173
負債純資産合計	1,837,901	1,653,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	579,686	513,129
売上原価	426,555	406,302
売上総利益	153,131	106,826
販売費及び一般管理費	200,318	218,301
営業損失(△)	△47,187	△111,474
営業外収益		
受取利息	64	56
受取配当金	465	240
業務受託収入	8,100	4,350
助成金収入	2,908	-
その他	302	760
営業外収益合計	11,839	5,407
営業外費用		
支払利息	279	279
為替差損	185	1,763
その他	1,312	154
営業外費用合計	1,777	2,196
経常損失(△)	△37,124	△108,264
税金等調整前四半期純損失(△)	△37,124	△108,264
法人税、住民税及び事業税	1,947	1,388
法人税等調整額	△2,219	△5,488
法人税等合計	△271	△4,100
四半期純損失(△)	△36,852	△104,164
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△36,852	△104,164

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△36,852	△104,164
四半期包括利益	△36,852	△104,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,852	△104,164

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	ソリューション 事業	エンターテイン メント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	541,640	38,046	579,686	—	579,686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,424	5,424	△5,424	—
計	541,640	43,470	585,111	△5,424	579,686
セグメント損失(△)	△30,524	△16,662	△47,187	—	△47,187

(注) セグメント損失(△)の合計額は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	ソリューション 事業	エンターテイン メント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	479,528	33,600	513,129	—	513,129
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,338	6,338	△6,338	—
計	479,528	39,938	519,467	△6,338	513,129
セグメント損失(△)	△88,336	△23,138	△111,474	—	△111,474

(注) セグメント損失(△)の合計額は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。